

須賀川市議会議員

渡辺こうへい 活動報告書



祝！初当選！新しい須賀川の第一歩！

皆様こんにちは。渡辺康平です。

この度の須賀川市議会議員選挙では、1417票を投じて頂き、初当選を果たしました。本当にありがとうございます。

「新しい時代には、新しい政治家が必要だ」と、私は選挙期間中、マイクとスピーカーを使い訴えてまいりました。

これからの新しい時代は、「人口減少」、「少子高齢化」など舵取りの難しい時代になります。

このような、政治課題に取り組むためには、既存の政策だけではなく、新しい発想による政策が必要です。

だからこそ、今の須賀川には若い力が必要だと思います。

9月4日から須賀川市議会議員として4年間の任期が始まりました。

後藤新平にゆかりある須賀川は「自治の町」です。

後藤新平の提唱した行動原理に「自治の三訣」があります。

「人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そしてむくいを求めぬよう」というものです。後藤はこの三訣を、個人から地域や各種組織、さらに地方自治、国家のあり方まで通ずる原理として提唱しています。

自治の町の市議会議員として、これからの須賀川市に「新しい自治」を確立させていきます。

市民の皆様、共に新しい須賀川を創りましょう。



写真：選挙事務所設立



写真：街頭演説実施中！

地方創生サミットに参加 8/28

東洋経済新報社の120周年記念イベントとして開催された経済イベントに参加しました。

今年は「地方創生」をテーマに、「稼ぐ民の力」を主軸として、民間主導のまちづくりに取り組む人々による講演を聴講。

特徴としては、講演者のほとんどが、資金調達は、「国の補助金」に頼らず、金融機関による「投融资」によって事業を展開しています。

須賀川市の地方創生も民間の活力が最も重要です。

そして、地方創生に必要な発想は、公共側が「民間のビジネスの思考」を持ち、民間側が「パブリックマインド」を持つ必要があることです。

「公と民の連携」が須賀川発展のキーワードだと考えています。

サミットの詳細について知りたい方は、資料をお渡ししますので、渡辺までご連絡ください。



写真：地方創生サミット会場

安保法案廃案の意見書に対して反対討論 9/15

須賀川市議会臨時会において「安全保障法制の廃案を求める意見書」が提出され可決されました。大変残念です。

私は今回の「安保法案の廃案意見書」について、地方自治体の臨時会に提出することは不適切ではないかと考えています。

臨時会は「議長」「副議長」などを選出する場であり、会期日程1日という短い日程で審議され、可決されてしまうこと、これこそ「強行採決」ではないかと考えています。

また、今回の「安保法案廃案の意見書」については、本会議と総務常任委員会において「意見書についての反対討論」を行いました。議会初日に「反対討論」を行うことになるとは思いませんでした。

反対討論の概要

第一、本意見書案の採決は特定の事件に限り審議する「臨時会」の意義には沿わない。さらに、会期日程一日という本会において、慎重な審議をせずに本意見書案を採択することは、拙速である。

第二、安全保障関連法案は、「国民の命と平和な暮らしを守る重要な法律」である。本法案の目的は、日本を取り巻く安全保障上の環境が大きく変化する中で、各種法律の隙間を防ぎ、抑止力を高め、戦争を未然に防ぐことが目的としている。

第三に、国会審議の時間は、116時間超となり、参議院特別委員会での審議時間は60時間を超えている。こうした十分な審議時間を考慮すれば、慎重な審議であった。

プロフィール 昭和60年8月15日生、須賀川市新町在住(080-3145-4519)

フェイスブック <https://www.facebook.com/kouhei1985>

ツイッター https://twitter.com/w_kouhei1985